
令和2年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和2年3月10日

質問者（質問順）

- 1 東 みちよ 委員（自民党）
- 2 川口 広 委員（自民党）
- 3 大野 トモイ 委員（立国フ）
- 4 木内 秀一 委員（公明党）
- 5 白井 正子 委員（共産党）
- 6 平田 いくよ 委員（神奈ネ）

こども青少年局

局 別 審 査

1 東 みちよ 委員（自民党）

1 新型コロナウイルス感染症への対応について

- (1) 放課後児童育成事業や保育・教育施設等におけるマスク不足への対応について伺いたい。
- (2) 午前中から開所した放課後児童クラブに対する本市の補助内容について伺いたい。
- (要望) 今後も感染症のリスクから子どもたちを守るとともに、留守家庭児童の居場所を確保することを要望する。

2 令和2年度こども青少年局予算案について

令和2年度こども青少年局予算案についての所感を伺いたい。

3 保育・教育の質向上の仕組みづくりについて

- (1) 本市として「よこはま☆保育・教育宣言」を策定した意図について伺いたい。
- (2) 保育者に対する「よこはま☆保育・教育宣言」の周知及び活用の進め方について伺いたい。
- (3) 「よこはま☆保育・教育宣言」の保護者や地域との共有の図り方について伺いたい。
- (要望) 保護者や地域と一層の連携を深め、乳幼児期の全ての子どもが質の高い保育・教育をうけることが出来るよう要望する。

4 保育士確保について

- (1) 保育従事者の負担軽減につながる取組に対する助成の内容と期待する効果について伺いたい。
- (2) 保育所等における休憩室等の整備補助への加算を新たに行う理由について伺いたい。

(3) 休憩室等の整備補助への加算の具体的な内容について伺いたい。

(4) 保育士の確保に取り組む決意を副市長に伺いたい。

5 児童虐待対策について

(1) SNSを活用した虐待相談受付の実施の検討内容について伺いたい。

(2) 児童相談所の再整備における、一時保護所での生活環境の改善の考え方について伺いたい。

(3) 一時保護所を退所した子どもの在宅支援を充実していくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 子どもやその家族が地域のなかで安心して生活できるよう、さらに、児童相談所、区役所や学校などの関係機関、民生委員・児童委員などの地域の関係者とも連携を強め、児童虐待の未然防止から発生時の対応、児童の自立に至るまでの対応について総合的に取り組むことを要望する。

6 児童虐待の予防に向けた子育て家庭を孤立させない取組について

(1) こんにちは赤ちゃん訪問事業が、子育て家庭の孤立防止に果たしている役割について伺いたい。

(2) 乳幼児健診における児童虐待の予防に向けた支援について伺いたい。

(3) 母子保健事業における児童虐待の予防を充実させるための取組について伺いたい。

(要望) 子どもの最善の利益のために、行政や他職種の方々、地域がしっかりと連携し、子育て家庭を見守り、支援することを要望する。

7 ひとり親家庭への支援について

(1) ひとり親家庭思春期・接続期支援事業の狙いについて伺いたい。

(2) ひとり親家庭思春期・接続期支援事業の実施方法について伺いたい。

(3) ひとり親家庭への制度周知の工夫について伺いたい。

8 少子化社会における子育て支援について

- (1) 若い時期から自らの健康に関心を持ち、妊娠・出産や子育てを自分ごととして考えられる機会を充実させるための取組について伺いたい。
- (2) 特に子どもが生まれる前から、父親としての意識を育む機会や場の充実を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 不妊に悩む方への支援内容について伺いたい。
- (4) 仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに向けた考え方について副市長に伺いたい。

1 私立幼稚園 2 歳児受入れ推進事業について

(1) 幼稚園 2 歳児受入れ推進事業の意義について伺いたい。

(2) 事業への参入が進まない理由について伺いたい。

(3) 運営費と開設準備費の拡充の内容とその狙いについて伺いたい。

(4) 実施園を増やすための今後の取組について伺いたい。

(意見) 幼稚園の優れた教育・保育資源を十分に子育て支援に生かすとともに、待機児童対策を進めるため、横浜市幼稚園協会と連携し事業の推進に取り組むことを期待する。

2 地域の親子の居場所事業について

(1) 事業の役割について伺いたい。

(2) 今後の事業展開について伺いたい。

(3) 支援の質の向上に係る取組について伺いたい。

(意見) 横浜の全ての子どもの健やかな成長のために、今後ますます地域での子育て支援が充実することを期待する。

3 父親育児支援について

(1) 父親育児支援講座の内容及び参加人数について伺いたい。

(2) 講座を広く周知し、より多くの男性に参加していただくための取組について伺いたい。

(3) この講座を父親同士のつながりの場として生かすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 今後の父親への育児支援に対する考え方について伺いたい。

(要望) 関係局と連携し、企業に対する働きかけにも力を入れて取り組むことを要望する。

4 寄り添い型生活支援事業について

(1) 令和2年度の実施箇所数について伺いたい。

(2) 登録者数の3年間の推移について伺いたい。

(3) 事業による具体的な効果について伺いたい。

(4) 事業の今後の展開について伺いたい。

(5) 子どもの貧困対策を引き続き推進していく決意について副市長に伺いたい。

(要望) 将来の横浜を支える全ての子どもたちがいきいきと成長し、自立した生活を送ることが出来るよう、今後より一層、力を入れて取組を進めることを要望する。

3 大野 トモイ 委員（立国フ）

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 学校による緊急受入れの終了時刻よりも早く開所した放課後児童クラブの数及び割合について伺いたい。
- (2) 放課後児童クラブに対する追加補助額の考え方について伺いたい。
- (3) こども食堂等の子どもの居場所を開催していることで運営法人が批判をうけることがないように配慮すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 医療的ケア児のご家族の方々や放課後等デイサービス事業所の現場などから、消毒液などが入手出来ないという声もあることから支援を行うことを要望する。

2 妊娠期からの切れ目のない支援について

- (1) 令和2年度の産後母子ケア事業の概要について伺いたい。
- (2) 本市における産後母子ケア事業の特徴とこれまでの実績について伺いたい。
- (3) 国の産後母子ケア事業の法制化された内容について伺いたい。
- (4) 国の産後母子ケア事業が法制化された経緯について伺いたい。
- (5) 本市が産後母子ケア事業の利用対象者を産後4か月未満としている理由について伺いたい。
- (6) 予防的視点から、産後母子ケア事業を子育て世代包括支援センターにおけるポピュレーションアプローチと一体的に進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 一時預かり事業について

- (1) 横浜子育てサポートシステムの事業開始時と平成30年度の会員数及び活動実績について伺いたい。
- (2) 横浜子育てサポートシステムを運営するに当たり、大切にしてきた点、課題及びその対応について伺いたい。
- (3) 孤独な子育てにならないよう予防的視点を取り入れ、より広範な人たちを対

象とするために多くの市民の力を借りて事業を進めるという視点が重要と考えるが、見解を伺いたい。

(4) 一時預かりのニーズに対応するため、地域子育て支援拠点等の既存の施設を活用することは有効と考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 既存の施設を活用しながら、一時預かり事業の更なる拡充に努めていただくよう要望する。

4 医療的ケア児への支援について

(1) 医療的ケア児の在宅生活における課題について伺いたい。

(2) 「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター」の国における事業との違いについて伺いたい。

(3) 「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター」の令和2年度の実施について伺いたい。

(4) 医療的ケア児の地域における福祉・教育等の関係機関への受入れは決して十分ではないという現状を踏まえた、今後の支援の考え方について伺いたい。

(要望) 当事者の声に耳を傾け、教育委員会とも連携をしながら子ども・青少年の地域におけるインクルーシブな育ちや学びの充実に尽力することを強く要望する。

5 保育施設における不適切な保育を防ぐための取組について

(1) 保育施設に対する本市の指導監督の内容について伺いたい。

(2) 運営に問題のある施設の指導に当たっての考え方について伺いたい。

(3) 本市の施設運営や保育内容をサポートする取組内容について伺いたい。

(4) 本市の施設運営や保育内容をサポートする取組の今後の展開について伺いたい。

6 ワーク・ライフ・バランスの推進について

(1) こども青少年局におけるワーク・ライフ・バランス推進の令和2年度の実施について伺いたい。

- (2) 本市における男性の子育てに関する現状について伺いたい。
- (3) 子育て世代のワーク・ライフ・バランスを推進していくに当たり、男性に対するアプローチに今後ますます力を入れていくべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (4) 家族として、互いに協力し合って子育てをすることが当たり前となるような社会にしていくための決意について副市長に伺いたい。
- (要望) 全ての人が望むワーク・ライフ・バランスを実現出来るよう、積極的な取組を進めていくことを要望する。

7 放課後等デイサービスについて

- (1) 放課後等デイサービス事業所に対する指導の方法及び実績について伺いたい。
- (2) 放課後等デイサービス事業所に対する確認の結果と過去3年間の不利益処分の件数について伺いたい。
- (3) 不正の発生防止に向けた考え方について伺いたい。
- (要望) 放課後等デイサービスに求められている役割が十分に発揮されるよう、適切な事業所指導を実施するための体制強化を要望する。

1 放課後キッズクラブ事業について

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策における放課後キッズクラブとはまっこふれあいスクールでの受入れに当たって工夫した点と利用状況について伺いたい。
 - (2) 学校の一斉臨時休業に伴う、学校による緊急受入れと放課後キッズクラブでの受入れを実施した所感について副市長に伺いたい。
 - (3) 夏の暑さ対策について伺いたい。
 - (4) 事業の見直しの検討にあたっての課題認識について伺いたい。
 - (5) 現場の声や保護者ニーズの反映方法について伺いたい。
- (要望) 事業見直しに向けた検討に当たり、子どもを最優先に考えながら、保護者や現場スタッフにとってもより良い見直しとなるよう取り組むことを要望する。

2 母子保健コーディネーターの配置について

- (1) 配置による妊産婦への支援の充実について伺いたい。
 - (2) 配置による産科医療機関との連携の強化について伺いたい。
 - (3) 妊娠期から産後早期の支援の充実に向けた取組について伺いたい。
- (意見) 全区に配置された母子保健コーディネーターを十分に生かしながら、区の専門職と医療機関が連携し、切れ目のない支援の更なる充実を期待する。

3 幼稚園教諭等住居手当補助事業について

- (1) 市型預かり保育事業の実施園数と利用者数の5年間の状況について伺いたい。
 - (2) 幼稚園教諭等住居手当補助事業において市型預かり保育を対象とする理由について伺いたい。
 - (3) 幼稚園教諭等住居手当補助事業の補助内容について伺いたい。
 - (4) 幼稚園教諭等住居手当補助事業の期待される効果について伺いたい。
- (要望) 現場の状況をしっかりと把握し、引き続き、人材確保の取組を進めることを要望する。

4 無償化を契機とした認可外保育施設の質の確保及び向上について

- (1) 本市が、基準を満たさない認可外保育施設を無償化の対象から除くのではなく、全ての施設を対象とした理由について伺いたい。
- (2) 市内の認可外保育施設の基準適合状況について伺いたい。
- (3) 認可外保育施設の質の確保及び向上に向けた取組内容について伺いたい。
- (要望) 現状把握に努め、課題がある場合は単に問題点を指摘するだけでなく具体的な支援策を講じるなど、環境整備にこれまで以上に尽力することを要望する。

5 重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービスの充実について

- (1) 放課後等デイサービス及び重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービスの事業所数の3年間の推移について伺いたい。
- (2) 重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービス補助金が有効に活用されるよう取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 重い障害や医療的なケアが必要な児童の住み慣れた地域での居場所の拡充につながるよう、本制度が十分に活用されることを期待する。

6 一時保護事業について

- (1) 一時保護所の受入枠の拡充方法について伺いたい。
- (2) 受入枠に合わせた支援環境の確保について伺いたい。
- (要望) 一時保護所の子どもたちが、保護所の中で安心して生活が出来るよう、引き続き、一時保護所の質及び量の両面で充実を図ることを要望する。

7 子ども家庭総合支援拠点について

- (1) 国が示す子ども家庭総合支援拠点の役割について伺いたい。
- (2) 子ども家庭総合支援拠点設置の検討状況について伺いたい。
- (3) 子ども家庭総合支援拠点設置に向けた考え方について副市長に伺いたい。
- (要望) 児童相談所の強化と併せて区役所に専門性を持つ職員を適切に配置し有効

性のある子ども家庭総合支援拠点を、全18区に確実に設置することを要望する。

1 放課後児童クラブについて

- (1) 学校の一斉臨時休業への対応としての緊急的な午前中からの開所要請について、開所の困難さを局として放課後児童クラブと共有すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 放課後児童クラブへ配付するマスクの確保状況及び配付時期について伺いたい。
- (3) 学校の一斉臨時休業に対応した放課後クラブの財政上の持出しがないように、全額国及び市の責任において財政負担すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 放課後児童支援員に対し、危険手当等の上乗せの支給を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 面積基準に適合させるために定員を下げたことによる受入れ人数の減少状況について伺いたい。
- (要望) 改めて、この面積基準適合が放課後児童クラブに与えた影響の調査を要望する。
- (6) 耐震基準適合支援の具体的な内容と全クラブ適合の見込みについて伺いたい。
- (7) 移転の完了が次年度となる耐震未適合クラブへの移転費補助を弾力的に令和元年度と同額とすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (8) 第2期子ども・子育て支援事業計画における放課後児童健全育成事業の確保方策の考え方について伺いたい。
- (9) 放課後キッズクラブの全校転換等により影響を受ける放課後児童クラブの安定運営のため、支援員の処遇改善を進めるなど、放課後児童クラブの運営を支えるべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 児童虐待対策について

- (1) 平成30年度以降の児童相談所の児童福祉司の増員状況及び人材育成の取組について伺いたい。
- (2) 職員の経験年数を考慮したバランスの良い人員配置をすべきと考えるが、見

解を伺いたい。

(3) 国基準を上回るゆとりのある人員配置をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 区の児童虐待対応等の機能強化のための人員配置の状況について伺いたい。

(5) 区の機能強化の効果について伺いたい。

(6) 社会福祉職の係長を全区に配置すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(7) 区の機能強化による児童相談所との連携の進め方について伺いたい。

(8) 子どもの命を守るための区の人員増に対する決意を副市長に伺いたい。

(要望) 区の人員増と併せて面接室の整備などの環境整備を要望する。

1 新型コロナウイルス対策について

- (1) 放課後児童クラブへのマスク配付に向けた対応状況及び、保育所や放課後児童育成事業、放課後等デイサービス事業所におけるマスク、アルコール等衛生品の充足状況にかかる把握内容について伺いたい。
- (2) マスク不足等への対応に当たっては、教育委員会、健康福祉局、総務局など関係局が連携を図り、局横断的に検討すべきと考えるが、副市長に見解を伺いたい。
- (3) 放課後キッズクラブの利用区分の考え方について伺いたい。
- (4) 放課後キッズクラブの利用区分1から2への区分変更手続きについて伺いたい。
- (5) 学校の一斉臨時休業に伴い、区分1から区分2に変更した方の自己負担の有無について伺いたい。
- (6) 区分1から区分2に変更したために新たに自己負担が発生することは、市民から納得いただけないと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 国に対して必要な予算措置を求めることを検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (8) 地域子育て支援拠点等が閉所されている中、現在の子育て支援サービスの提供状況について伺いたい。

2 多様な保育、子育て支援について

- (1) 乳幼児一時預かり事業は配慮の必要な子どもの利用も多い。制度的な支援が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 乳幼児一時預かり事業の事業所の拡充に向けた取組内容について伺いたい。
(意見) 乳幼児一時預かり事業の更なる取組に期待する。
- (3) 子どもや子育て世代を取り巻く社会状況が多様化し、複雑化し、ソーシャルワークの重要性も広く認識され始めている中で地域の重要な社会資源である、認可保育所の役割について伺いたい。

- (4) 全国、県、本市における出生数に占める多胎児、いわゆる複産数やその割合の推移について伺いたい。
- (5) 国の多胎児支援の予算化にかかる、本市としての取組内容について伺いたい。
- (6) 多様な社会資源があることで、様々なリスクが回避できる。持続可能な都市となるために、子育てしやすい、住みたい、働きやすいまちをつくっていく、不断の努力こそが求められると考えるが、見解について副市長に伺いたい。